令和5年度御殿場市環境マネジメントシステム
取組結果報告書

御殿場市では、平成 21 年度から御殿場市環境マネジメントシステム（ＥＭＳ）を制定・運用し、環境推進活動を実施しています。

本システムは、市のすべての施設・組織・職員を対象として、事務及び事業活動に伴う環境の向上及び環境への負荷を継続的に低減するものです。

≪市直営施設及び指定管理施設≫

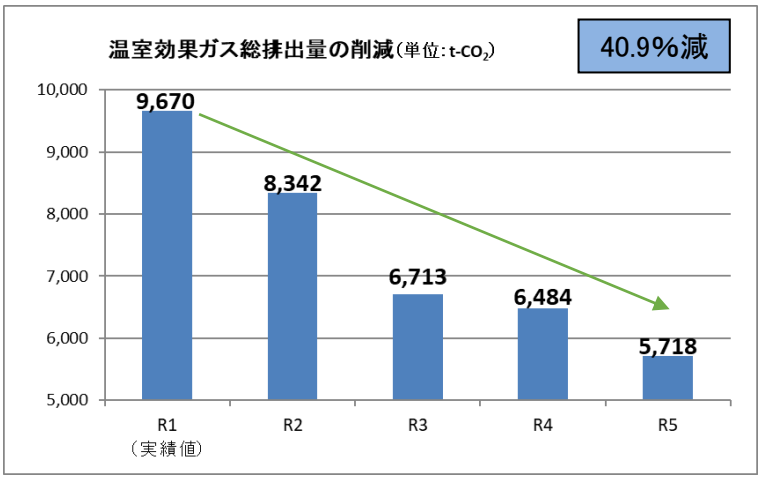
環境の向上及び環境負荷の低減に関する取組項目		目標		令和4年度実績値	令和5年度実績値（R1実績値との比較）	目標達成の有無
		目標値	基準値（R1実績）			
1 省エネルギー・省資源の推進	（1）温室効果ガス総排出量の削減（単位：t-CO_2）	令和7年度までに令和元年度実績から86%削減	9,670	6,484	5,718（−40.9%）	未達成
	A 電気及びその他の燃料（A重油、灯油、都市ガス、LPG、ガソリン、軽油）による削減		9,407	6,266	5505（−41.5%）	未達成
	[電気使用量、単位：kWh]		[17,333,683]	[10,371,640]	[10,369,923]	
	B 公用車燃料使用量の削減（走行距離を含む）	令和7年度までに令和元年度実績から5%削減	263	218	212（−19.3%）	達成
	[燃料使用量、単位：ℓ]		[105,559]	[85,506]	[83,466]	
	（2）紙使用量の削減（紙使用量、単位：kg）	令和7年度までに令和元年度実績から5%削減	94,784	102,594	93,226（−1.6%）	未達成
	（3）水使用量の削減（水使用量、単位：㎥）		187,567	168,795	168,049（−10.4%）	達成
2 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	可燃ごみ排出量の削減（可燃ごみ排出量、単位：kg）	令和7年度までに令和元年度実績から5%削減	191,896	198,628	194,616（1.4%）	未達成
3 グリーン購入の推進 ＊環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを優先的に購入		適合率75%以上	72.6%	77.9%	83.5%	達成

環境マネジメントシステムの取組項目を、電気使用量、公用車燃料使用量、暖房等に利用するその他燃料使用量からなる「温室効果ガス総排出量」、「紙使用量の削減」、「水使用量の削減」、「可燃ごみ排出量の削減」及び「グリーン購入の推進」とし、それぞれ削減目標等を設定しています。

令和５年度は第５期目標の３年目となります。令和元年度を基準年度とし、令和７年度までに温室効果ガスの排出量を 86%削減する目標達成に向け、より一層の取組を行っていきます。

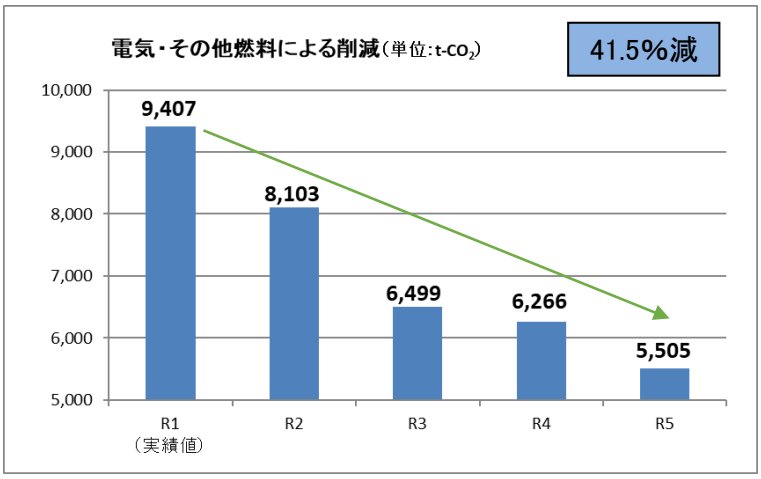
1　省エネルギー・省資源の推進

（1）温室効果ガス総排出量の削減　　（未達成）



温室効果ガス総排出量は、前年度に比べ 766t-CO_2（11.8%）の減、基準年度（令和元年度）に比べ 3,952 t-CO_2（40.9%）の減となった。

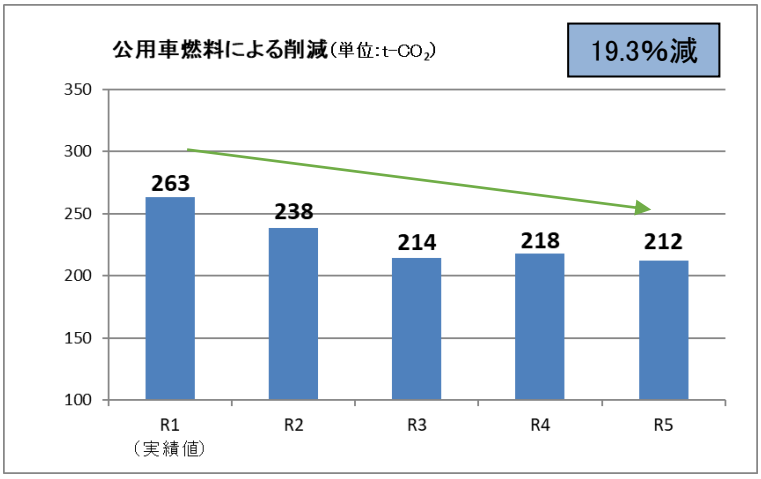
A　電気及びその他燃料による削減　　（未達成）



電気及びその他燃料使用量に起因する温室効果ガス排出量は、前年度に比べ 761t-CO_2(12.1%)の減、基準年度(令和元年度)に比べ 3,902t-CO_2(41.5%)の減となった。

使用量に大きな変化は無いが、水道水源や南学校給食センター等で使用した電気に係る CO2 排出係数が前年度より低いため温室効果ガスの排出量が低下した。

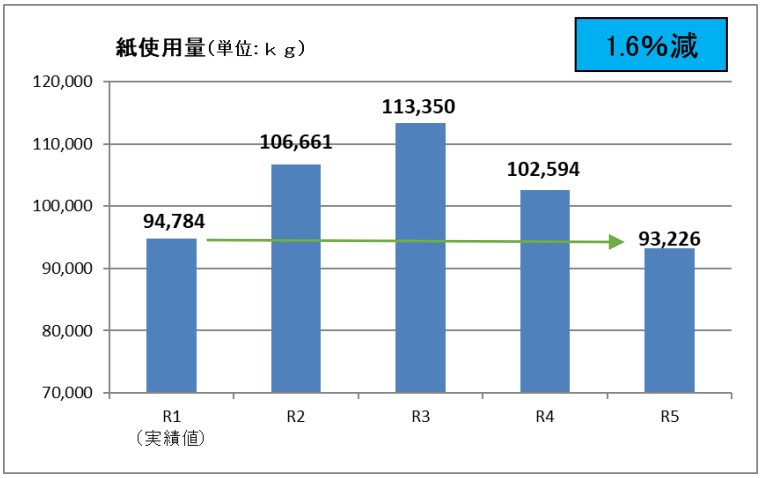
B　公用車燃料による削減　　（達成）



公用車の燃料使用による温室効果ガス排出量は、前年度に比べ 6t-CO_2（2.4%）の減、基準年度（令和元年度）に比べ 51t-CO_2（19.3%）の減となった。

前年度とほぼ変わらない使用量であった。導入された電気自動車の利用やエコドライブの徹底により引き続き使用量削減に努めたい。

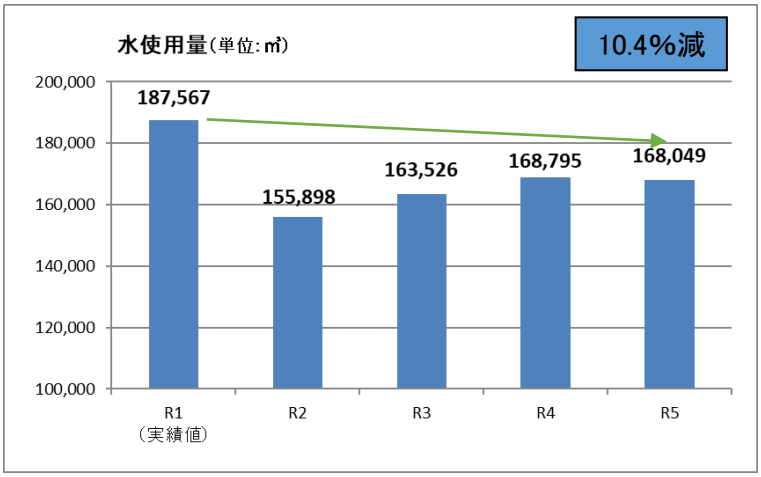
（2）紙使用量の削減　　（未達成）



紙使用量は、前年度に比べ9,368kg（9.1％）の減、基準年度（令和元年度）に比べ 1,558kg（1.6％）の減となった。

基準年度と比較して初めて減少している。コロナワクチンや各種給付金にかかる通知等の経費が減となった影響に加え、イベント、日常問わず再利用や電子媒体利用の意識ができている。目標の 5%削減に向けて引き続き削減に努めたい。

（3）水使用量の削減　　（達成）



水使用量は、前年度に比べ746㎥（0.4％）の減、基準年度（令和元年度）に比べ 19,518 ㎥（10.4％）の減となった。

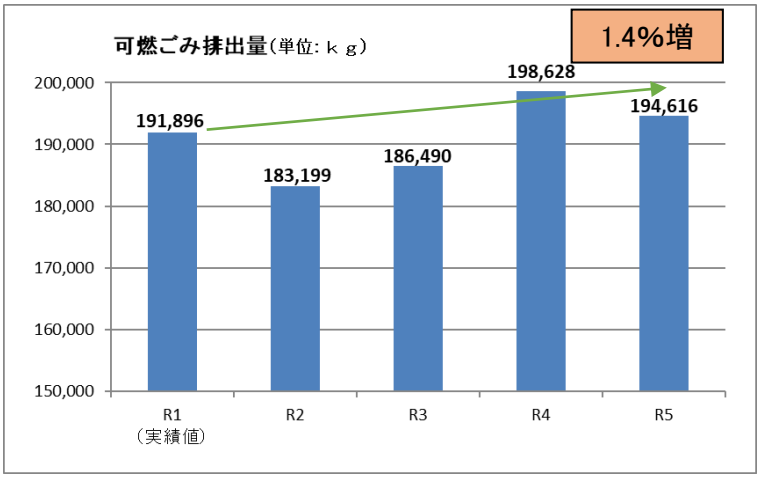
前年度とほぼ変わらない使用量であった。

基準年度（令和元年度）からの減はコロナ禍に縮小された小中学校のプール活動の影響によるものと考えられる。

引き続き使用量の維持・削減に努めたい。

2　廃棄物の減量化・リサイクルの推進

可燃ごみ排出量の削減　　（未達成）



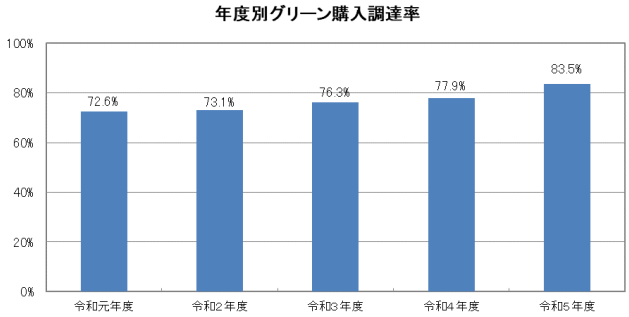
可燃ごみ排出量は、前年度に比べ 4,012kg（2.0％）の減、基準年度（令和元年度）に比べ2,720kg（1.4％）の増となった。

４年ぶりの減少となったが基準年度より増加している。

指定管理施設では、前年度と比較して利用者増加によりごみ排出量が増加しているが、資源化量も増加していることから可燃ごみとの分別が意識づけられている。

３ グリーン購入の推進

グリーン購入適合品の調達率



適合品調達率 75%という目標に対し、令和5年度は前年度を 5.6 ポイント上回り 83.5%で目標達成となった。

業務上、特別仕様や指定のあるようなものを除き、グリーン購入への意識が表れている。